



「地域共生のいえ」とは、オーナー自らの意思により家・建物を地域の公益的かつ営利を目的としないまちづくり活動の場として地域に役立てる取り組みです。

地域共生のいえがわら版

第7号

発行月：平成28年3月31日

発行：一般財団法人世田谷トラストまちづくり

ふ れ る ・ つ な が る ・ ひ ろ が る

「地域共生のいえ」とは、オーナーの意思により地域にひらかれ、公益的で営利と目的としないまちづくり活動や地域の絆を育む活用がなされている、世田谷区内の私有の建物です。

2005年からスタートし、現在19カ所となりました。

オーナーの想いと、その想いに共感する方々によって、

個性豊かな取り組みが各地域で展開されています。

地域共生のいえ
がわら版
第7号



1 まちのお茶の間
岡さんのいえTOMO
所在地 上北沢3-5-7



2 我が家で過ごすようなひとと時
椎の木
所在地 桜上水3丁目

4 放牧する子育て
ルツの家
×おでかけひろば@あみーご
所在地 松原4-2-18



12 木漏れ日のギャラリー
ありりんかん
在林館
所在地 羽根木2-34-4



3 地域の「元気」を育てる発信基地
こす
COS下北沢
×NPO法人コスファ
所在地 北沢2-39-6



7 いろいろな人が交わる場
こす
COSちとふな
所在地 船橋1-1-2



19 忙しい日常を離れて、
のんびりゆっくり
かいりんしょう
諧林招
所在地 船橋3-12-3



8 いわば、地域の笑顔工房です
あかねこうぼう
所在地 祖師谷4-7-18



6 インターネット古書店
リブロニワース
所在地 赤堤1-13-2



13 「基」コミュニケーション・サロン
しんきろう
真喜楼
所在地 砧6丁目

5 お年寄りの心の拠り所
さろんわんこいん
茶論ONECOIN
所在地 宮坂2丁目



15 ケアラー（介護にたずさわる人）
の集う自宅サロン
ケアラーズカフェ **KIMAMA**
所在地 桜丘5-15-11

ティースプーン
一杯の気分転換
しんか
あばら屋 春夏
所在地 新町2-34-13



18 みんなでぬくぬく
ぬくぬくハウス
所在地 玉川1-2-3



10 ご近所の集いの場
野草の会・こめこめ庵
所在地 弦巻1-37-10



16 共通の関心事から
生まれる交流の場
シェア奥沢
所在地 奥沢2-32-11

14 地域の子ども、ママさんを支える
昭和なおうち。
**いいおかさんちで
あ・そ・ぼ**
所在地 玉川2-9-19



9 大正から引き継がれる空間
読書空間みかも
所在地 奥沢2-33-2



2015年度、2ヶ所の新しい「いえ」が誕生しました！

2015年9月open
18 ぬくぬくハウス
みんなでぬくぬく



昔からたくさんの方が 出入りしていた記憶のあるいえ

東急田園都市線二子玉川駅の改札を出る。かつては私鉄沿線ののどかな河沿いの街、という印象だったが二子玉川のまちも、ここ数年で大きく様変わりした。ショッピングセンター、映画館、ビジネス棟、マンションを擁する「二子玉川ライズ」が建ち、都心に近く環境が良い、というので近年ますます人気が高い。

温井克子さんの自宅はそんな二子玉川の多摩川沿いにある一軒家。伺った日は「地域共生のいえオープンデー（現場見学会）」。

7段飾りのお雛様が飾られ、ストーブにはお茶が入ったヤカンが湯気をたてている。どこか親戚の家にお邪魔したような気分になる。

「皆様ようこそ。オーナーっていうガラじゃありませんが、けんちん汁や甘酒もあります。ゆっくりしてってください」

テキパキと動く温井さん。お仲間の伊中悦子さんがプレオープンからの日々をパソコンで説明する。林美栄子さんは甘酒をあたためている。青柳総太郎さんは後からいらっしゃるお客さんのために外でお出迎え。チームワークも完璧。10年来のお付き合いのようだが、2年ほど前に出会ったばかりという。このいえは、温井さんの子ども時代からたくさんの方が出入りし、にぎやかな場だった。今でも10人や20人分の料理を作るのは「なんてことない」そう。

まちにひろくいえに仲間が集って

ある日、玉川町会が中心となって立ち上げた「二子玉川100年懇話会」の案内を目にし、足を運んでみた温井さん。たまたま同じテーブルに座った伊中さん、宮川智子さんと意気投合した。「100年懇話会」は新旧住民の交流が目的の場。温井さんは多摩川の水で産湯に浸かったという生粋の多摩川っ子だ。伊中さんは、現在は二子玉川ライズの住民だが、対岸の川崎市で長年地域活動をしてきた。過

ごしてきた時間や、環境は違っても、子どもも大人も安心して過ごせる居場所があったらという想いは同じ。こうして新旧住民の知恵が結集。まちにひらかれた居場所づくりへと動き出した。

2014年10月に世田谷トラストまちづくりへ相談に。親の代からここで暮らしている温井さん宅には、たくさんのお菓子や家族が収集した骨董品など様々なものがあり、片付けと活動の資金調達にと2015年3月、4月に「ガレージセール」を行った。7月には流しそうめんや、納涼映画おしゃべり会なども開催。プレオープンながらも盛りだくさんな企画で、ネーミングもしている。子どものたまり場「こども・ぬくぬく」、大人の学びの場「おとな・ぬくぬく」、多世代交流の場「まぜっこ・ぬくぬく」と聞いただけで対象がわかる。

温井さんのけんちん汁から湯気が上がる。ニンジン、大根、ゴボウなど別々のものがひとつの鍋で良い味を出し合う。ぬくぬくハウスもそれぞれの持ち味を生かし、おいしい、楽しい時間をこのまちに生み出していくことだろう。



■DATA
所在地 玉川1-2-3
連絡先 03-3707-0037
活動日 月曜日 15:00-18:00 金・土曜日 15:00-夜ほか
HP <http://www.nukunuku-house.com/>

2016年3月open
19 諧林招
忙しい日常を離れて、のんびりゆっくり



離れを使い、人が集える 調和のとれた空間に

小田急線千歳船橋駅から商店街をぬけて、10分ほどのところに林田カヨ子さんの自宅の離れ、「諧林招」（かいりんしょう）はある。家の前は通学路なのか、小学生がにぎやかに通っていく。諧林招の中に一步入ると静けさが宿る空間が迎えてくれる。窓が大きく、庭のみどりとともに優しく光が差し込む。林田さんのお仲間が作ったという陶芸作品などが並び、さながら郊外のギャラリーにお邪魔したようだ。

広島で生まれ育った林田さんは、若い頃広島の芸術運動に触れたり、画家や現代芸術家と交流する機会を得た。やがてこの地へ嫁いでも、子育ての合間にお菓子作りや手芸といった、ものを作ることをお仲間とともに楽しむ時間をもっていた。やがて子どもは巣立ち、この離れをひとりで使うにはもった

いない、何かに役立てられないだろうかと考えていた。そんな折、「シェア奥沢」のことを知る機会を得る。そこで2014年の11月にまずは世田谷トラストまちづくりの「空き家等地域貢献活用相談窓口」を訪れた。そこで話し合いを重ね、地域共生のいえとして進めることとなった。2015年6月から単発的にイベントを開催し、2016年1月から定例活動を試行してきた。

何もしなくていい のんびりしに来てほしい

かつて林田さんは、「らぶらす男女共同参画センター」の開設時（1993～95

年）に編纂された「せたがや女性史」の公募の区民委員に選ばれたことがある。区内の著名な人にインタビューに出かけ、貴重な話を聞く機会を得た。「お金をもらわないで人のために動くってものすごく自分のためになる！なんてお得！」と思ったという。人とつながることの楽しさを実感し、ボランティアに開眼した林田さん。離れをまちにひらくことは自然な流れだったのかもしれない。



諧林招の活動は「お試し企画」とはいえ本格的。寄席であったり、著名な学者さんをお呼びしたりと林田さんの幅広い友人関係を物語っている。イベントの企画や料金もご主人と相談しながら決め、開催時にはかつて一緒に手芸やお菓子を作っていたご近所のお友達や林田さんの想いに共感した方がスタッフとなってお手伝いしてくれている。

芸術に触れ、ボランティアに楽しさを見だし、生まれた林田さんの諧林招。名前の「諧」は周囲と調和がとれた状態を意味し、「林」は林田さんの一文字を、「招」は人を招いて。「忙しいことが多い日々だと思っから、ここで何もなくてもいい、のんびりしに来てほしい」という林田さん。今後も色々な周囲の人やものと調和をとりながら、人を招き入れ、ゆっくりしてもらおう空間としてひらいていくことだろう。

■DATA
所在地 船橋3-12-3
連絡先 03-6411-3774
活動日 第2・4火曜日 13:00-16:00



「トラまち」から

「地域共生のいえ・オープンデー」を開催して ～平成28年2月15日（月）

地域共生のいえを始めたいと考えるオーナーさんや運営サポートをしてみたいという方、またこうした取り組みに関心がある方々に「いえ」を肌で感じていただくため、「地域共生のいえ・オープンデー」を2月に開催しました。今年は、「えんがわぼっこの家」と「ぬくぬくハウス」のみなさんにご協力をいただきました。これまで半日かけて2カ所の「いえ」をみんなで巡る「訪

問ツアー」として実施してきましたが、1カ所からでも参加できるように初めてオープンハウス形式で行ったところ、気軽さが増えたのか、通常だと十数名のところを延べ34名の方にご参加いただくことができました。日頃から気にはなっていたけどなかなか…という方へのきっかけをご提供できたのでしたらうれしい限りです。オーナーや運営協力者のみなさんの地域へ

役立てたいという「想い」で成り立っている地域共生のいえ。トラストまちづくりでは、暮らしの中の徒歩圏に一つ、このような場があることで日常生活がずっと豊かに、居心地よいものになるのではと考えています。そうした「地域共生のまち」の実現を目指し、これからもみなさんとともに「地域共生のいえ」づくりに取り組んでまいります。（担当：CA）

